



A-Series **GP** ユーザガイド



目次

インクと溶剤について	4
保管	5
火災防止	5
インクの処理と廃棄	6
概要	7
起動	8
装置の停止	9
緊急停止	9
インクとメーカーアップ・カートリッジの交換	10
インク・リザーバの交換	11
フロントパネルの操作	14
キーボード、オプションおよびファンクションボタン	15
画面	17
機能ボタン（ソフトキー）	18
メッセージの入力	19
はじめに	19
メッセージ機能	19
メッセージのデフォルト	21
メッセージの新規作成	22
代替キーボード	25
メッセージ設定とフィールド設定の変更	26
メッセージストア	28
メッセージ編集	28
メッセージの削除	28
メッセージの印字	30
クロック機能	31
クロックの挿入	32
オフセットクロック設定のデフォルト	34
オフセットクロックの挿入	35
カウンタの挿入	37
カウンタのリセット	39
バーコードメッセージの入力（モデルにより異なる）	41
ロゴの挿入	44
プリンタの状態	47
スタンバイ	47

印字準備中	47
印字準備完了	47
シャットダウン	47
加熱中	48
故障の検出	49
電源表示ランプが点灯しません	49
印字しません	49
印字位置が不適當です	50
印字サイズが小さすぎます	50
ガターからインクがあふれています	50
プリントヘッドのクリーニング	52

A-SERIES GP の記号

当マニュアルでは、次の記号が使用されています。手順や説明の横に記号を表示しているものは、重要な警告事項や注意事項です。



防護眼鏡をかけてください。



防護服および防護手袋を着用してください。適切な保護手袋を着用してください。関連する製品安全データシート (MSDS) を参照してください。



機械のスイッチを切り、電源を停止してください。



この手順を実行できるのは、トレーニングを受けた方のみです。



静電気放電 (ESD) に注意してください。静電気防止策を講じてください。

- まずマシンのスイッチを切ります。
- アースに接触されているリストバンドを着用します。
- 静電電圧を蓄積する衣服は着用しないでください
- PCB (電子基板) の運搬には ESD 防護バックを使用してください。
- PCB (電子基板) は、静電電圧を逃がす素材で作られ、アース接続されているマットに置いてください。

健康と安全

インクと溶剤について

Domino 社では、本機で使用しているインク、メイクアップ液、洗浄液について製品安全データシート (MSDS) を提供しています。各容器にも健康と安全に関する警告ラベルを貼付しています。次に一般的な基本必要事項について説明します。

- 製造業における常識的な清潔、整理状態を維持する。
- インクおよび容器は注意して保存し、取り扱う。
- インクまたは溶剤の近辺で喫煙したり、裸火（またはその他の火の元）を使用したりすることは非常に危険ですので、行わないでください。
- インクに直接触れる人は、その使用について適切な指示内容を知っておく。

安全操作の訓練の方法はその環境によって異なります。必要な予防措置を取るための一般的な注意事項を次に説明します。

- 口からの摂取を避けるために、飲食、喫煙、またはインクが口に入る可能性があるその他の行為は避けてください。
- インクが目に入らないようにしてください。インクが飛び散ったり、霧状に飛び散る危険性があるため、常に防護眼鏡をかけてください。万一インクが目に入った場合には、応急措置として、目を塩水に 15 分間浸します（塩水が無い場合、浄水を使用します）。インクが入っていない側の目に水が入らないように注意してください。すぐに医師の診断を受ける必要があります。Domino 社からは洗眼液（品番 99200）を入手できます。
- ほとんどのインクには、肌に有害な溶剤が含まれています。安全操作の訓練を実施する必要がありますし、リスクアセスメントも実行してください。作業員用保護設備についての製品安全データシート (MSDS) が供給可能です。大部分の手袋は、短時間の保護にしかありません。頻繁に利用する場合、または飛び散った場合には、手袋を交換してください。

- 大部分のインクには、蒸発しやすく、吸入してしまう可能性のある物質が含まれているため、十分な換気が必要です。
- 使用済みのクリーニング用素材、たとえばラグ、ティッシュなどは、燃える危険性があります。これらは使用後回収し、安全な場所に捨ててください。

保管

印字用インクは、換気の良い建物の、火災に備えて安全のために選択された場所に保管する必要があります。すべてのインクおよび溶剤は、その地域の規則によって保管する必要があります。

火災防止

電気火災の消火には、水を使わないでください。ニトロセルロースを含むインクの火災（下記参照）などで、水を使用しなければならない場合には、最初に必ず電源を外してください。

インクジェットプリンタで使用するインクのほとんどは、ニトロセルロースを結合材として使用しており、乾燥すると可燃性が高くなります。プリンタに表示される全ての警告を確認し、次の安全指示に従ってください。

- 乾燥したインクがこびりついた場合でも、鉄類（鉄、鋼）のスクレーパで削り落とすと火花を生じるので、このような工具は使用しないでください。
- ニトロセルロースを含むインクが発火した場合、インク化合物自体に酸素が含まれているため、このようなときには、水で温度を下げるのが唯一の消火方法です。
- ニトロセルロースによる火災が発生した場合、水で消火する前に、速やかにプリンタの電源コードを外してください。

火災の危険は、印字用インクを保管、使用する場合に最も考慮しなくてはならない問題です。火災の危険性は、その使用するインクまたは溶剤の種類によってかなり異なります。

水性インクは燃えませんが、水とアルコールの混合インクは、アルコールの割合が高ければ燃える可能性があります。水性インクも、高温下に長時間置くと、水分が蒸発し、燃えやすい成分が残ります。

溶剤ベースのインクの危険性は、特定の溶剤、または溶剤の組み合わせによって高くなります。特定の危険性がある場合、SDSに適切な情報が記載されています。

インクジェットプリンタは、印字に使うインク滴にわずかの静電荷を加えます。このような静電荷はほとんどの場合、印字表面にインク滴が到達するなどにより、伝導されて放散し、蓄積されることはありません。ただし、メンテナンス中にインク滴をビーカーなどの容器に集めることがあります。このような容器は、導電性素材で作られたもので、確実にアースに接触されている必要があります。そうであれば、静電気は安全にアースへ伝導されます。

火災が起きた場合には、印字用インクから危険な煙が発生します。それで、インクは消防作業の際にすぐに取り出せる、延焼する可能性がない場所に保管する必要があります。

インクの処理と廃棄

警告： 一部のインクは、乾燥すると、非常に燃えやすくなります。インクがこぼれたら、すみやかに掃除してください。インクが乾燥すること、またはこぼれたインクが乾燥してこびりつくことのないようにしてください。

こぼれたインクは、直ちに適切な溶剤で拭き取ります。その際、作業者の安全に留意してください。こぼれたインクや拭き取り後の残留物が下水や排水溝に流れ込まないように注意を払ってください。

インクおよび関連する溶剤は導電性物質です。このため、プリンタ内でこぼれたインクを拭き取る際は、プリンタのスイッチを切ってください。

印字用インクおよび関連する溶剤は、一般廃棄物として処分しないでください。その地域の規則に従って廃棄する必要があります。

はじめに

概要

このドキュメントでは、Domino の A-Series GP プリンタの基本的な操作方法について説明します。


操作およびメンテナンスの詳細については、『A-Series GP プリンタ操作および保守マニュアル』を参照してください。


操作


起動

注記: 電源オフの状態からです。

電源オン / オフ  ボタンを押し、2 秒間押したままにします。



- 電源ボタンの緑のインジケータが点滅し、ストロボ LED が点滅を始めます。
- 何らかの故障があれば、上部の状態バーに表示されます (スタンバイ状態になり、スクリーンが表示され、ポンプがオフになるまで約 20 秒かかります)。
- ホーム画面が表示され、画面の右上には  アイコンが表示されます。

起動 / 停止  ボタンを押し、2 ~ 3 秒間押したままにします。

- 起動 / 停止ボタンの緑のインジケータが点滅を始めます。
- 状態バーには、もし故障があればそのこと、および [ジェットの開始中] というメッセージが表示されます (起動には約 70 秒かかります)。
- 状態表示部 (画面の右下) には、[スタート] と、秒単位のカウントダウンが表示されます。
- プリンタは、メッセージを印字可能な状態です。  アイコンはスクリーンの右上部に表示されます。


装置の停止

注記: 印字完了状態またはスタンバイ状態からです。

- 電源オン/オフ  ボタンを押し、2秒間押したままにします。
- 起動/停止ボタンの緑のインジケータが点滅を始めます。
- プリンタは停止動作に入ります。
- 画面の右下にタイマーが表示され、[ストップ] とカウントダウン時間が表示されます。
- 画面の右上には  アイコンが表示されます。
- 停止シーケンスには、印字状態からは約3分、スタンバイ状態からは12秒かかります。
- プリンタの電源が切れると、表示とポンプはオフになります。

緊急停止

注記: いつでも行えます。

- 電源オン/オフ  ボタンを押し、10秒間押したままにします。

注意: 緊急停止の後では、ノズル・プレートを外さないでください。印字ヘッドへのフィードラインには、まだ圧力がかかっている可能性があるからです。

インクとメイクアップ・カートリッジの交換

警告： インクまたは溶剤の近辺で喫煙したり、裸火（またはその他の火の元）を使用したりすることは非常に危険ですので、行わないでください。

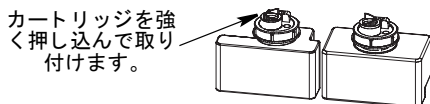
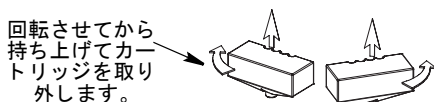


注記： プリンタで使用するインクが少量の場合、インク・カートリッジを取り付ける必要はありません。インク・マニホールド・シールはそのままにし、画面に要求メッセージが表示された場合にのみインク・カートリッジを取り付けてください。

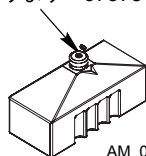
インクまたはメイクアップ・カートリッジの交換が必要な場合は、「インク・カートリッジ追加」または「メイクアップ・カートリッジ追加」というメッセージがスクリーンに表示され、黄色のアラートが点滅します。

インク・カートリッジは、時計と反対方向に回転させて持ち上げます。メイクアップ・カートリッジは、時計方向に回転させて持ち上げます。このメカニズムによって、カートリッジが間違えたマニホールドに取り付けられていないことを確認できます。

カートリッジを取り付けるには、カートリッジオープニングツール（Domino 部品番号 67378）を使用してシーリングタブを切り取ります。



カートリッジオープニングツールを使用して蓋を切り取ります - 67378



AM_0029.eps


AM_0033a.eps

カートリッジの交換

メイクアップ・カートリッジを交換しなかった場合、やがてメイクアップ・リザーバは空になり、最終的にインク粘度が動作制限を超えます。また、プリンタを停止した時にヘッドの洗浄が行われず、インクがプリントヘッドのコンポーネントに付着します。このため、プリンタが使用可能であってもヘッドの故障が発生することがあります。

インク・リザーバの交換

警告： インクまたは溶剤の近辺で喫煙したり、裸火（またはその他の火の元）を使用したりすることは非常に危険ですので、行わないでください。

インク・リザーバの残り時間は、ホーム画面の  アイコンに表示されます。

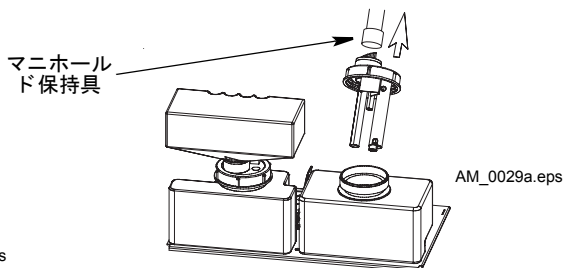
次の手順でインク・リザーバを交換します。

- 注記： (1) この手順では、インクがこぼれた場合に使用する工業用ティッシュが必要です。
- (2) メークアップ・リザーバを交換することはできません。

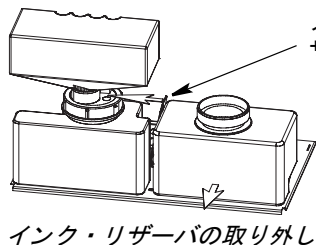
プリンタのスイッチを切ります。インクカートリッジを取り外します（次の図を参照してください）。マニホールドロックリングを外し、インク・リザーバからマニホールドを持ち上げ、インクキャビネット上部の内側にあるマニホールド保持具の中にマニホールドを固定します。

インク・リザーバにキャップを取り付けます。金属のインク・リザーバ保持バーを押して、インク・リザーバを手前に引いて取り出します。

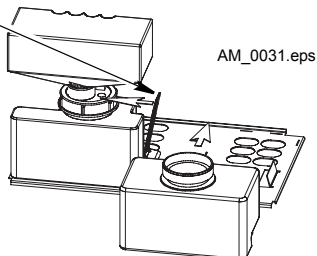
新しいインク・リザーバは、上記と逆の手順で取り付けます。



AM_0030.eps



インク・リ
ザーバ保持
バー





インク・リザーバの再装着

インク・リザーバの交換

新しいインク・リザーバを取り付けた場合には、リザーバの品質コードを入力し、インク・リザーバ交換の警告ランプを次の手順でリセットしてください。

- (1) プリンタをスタンバイ状態にします。

注記: ジェットがオフになったことを確認します。

- (2) [サービスキー]  ボタンを押します。
- (3) [品質コード]  ボタンを押します。
- (4) 右カーソルボタンを押して入力ウィンドウを強調表示にし、新しいリザーバの前面に印字されている新しい品質コードを入力します。
- (5) Enter ボタンを 1 回押します。
- (6) 品質コードが受け付けられたら、リザーバを取り付けます。

(7) プリンタを再起動します。

(8) プリンタは3分間、インクシステムの低圧ブリードを実行します。

注記: この動作は、何らかの操作を実行する前に行わせる必要があります。

フロントパネルの操作

プリンタのすべての操作は、ユーザーインターフェースから行います。

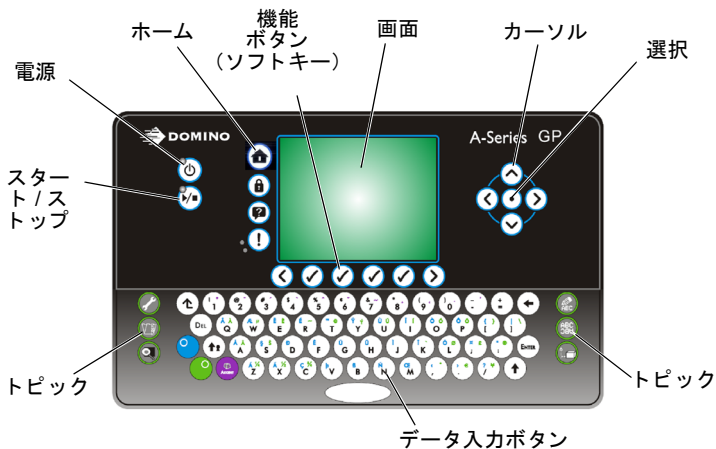
コントロールパネルには次の2種類のボタンが付いています。

- 機能単一の固定ボタン
- ソフトウェアの制御によって機能を変えられるファンクションボタン (ソフトキー)

注記: ソフトキーのオプションは4つまでウィンドウに表示されます。これらは、機能ボタンのすぐ上にある機能に対応します。左右にスクロールして、他の機能を表示することもできます。

Alt 1 または Alt 2 機能ボタンと組み合わせれば、他の文字も使用できます。

インターフェースのメインエリアは、次のようになっています。



フロントパネルのキーボードのレイアウト

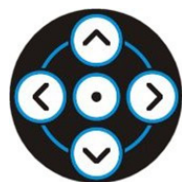
キーボード、オプションおよび機能ボタン



電源ボタン 装置をスタンバイ状態にするには、電源ボタンを2秒間押します。



スタート / ストップボタン 装置を印字可能状態にするには、スタート/ストップボタンを2秒間押します。装置を印字可能状態にするシーケンスが実行されません。印字可能状態のときに押した場合には、スタンバイ状態になります。



カーソルボタンと選択ボタン 外側の4つのボタンは、画面のカーソルを移動するために使用します。中央の選択ボタンは、アクションを選択したり、変更を保存したりする場合に使用します。



ホーム ホーム画面に戻ります。



セキュリティ (アクティブな場合)ユーザーのログイン/ログアウトで使用します。



ヘルプ ヘルプを表示します。



アクティブな警告 システムの警告を表示します。



サービス サービス機能に入ります。



システムブ コマンド 関数の一覧を表示します。
ロパティ



状態 プリンタの状態を表示します。



Alt 1 キーボード 上の青の文字を選択し
ます。



Alt 2 キーボード 上の緑の文字を選択し
ます。



アクセント キーボード 上のアクセント 記号を
選択します。



メッセージ 印字するように現在設定されて
編集 いるメッセージを表示し、メッ
ッセージを編集できるようにしま
す。メッセージストアも表示され
るので、メッセージを選択 / 編集
できます。



印字パラ メータ 印字パラメータ、遅延、幅などに
アクセスできます。



遅延 (印字 開始位置) 印字の遅延を調整できます。



バックス ペース カーソルの左隣のエントリを削
除します。



削除 カーソルの右隣のエントリを削除します。



Caps
ロック 入力する文字を小文字から大文字に切り替えます。



シフト このキーを押しながら他のキーを押すと、大文字と小文字が切り替わります。

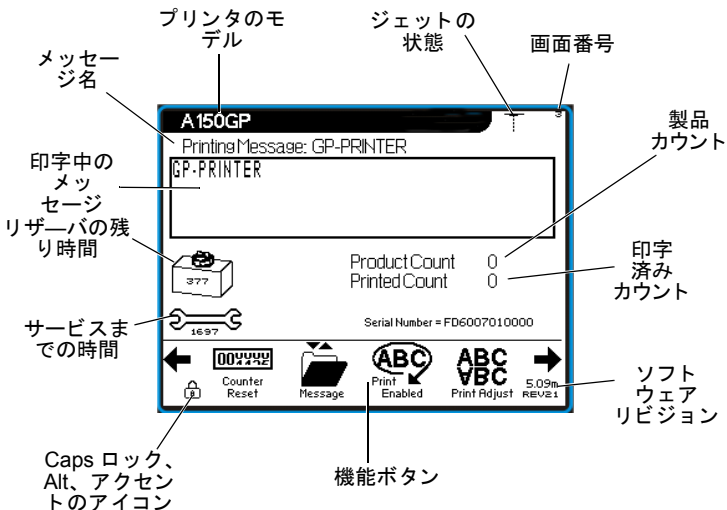


戻る 変更を破棄して、前のメニューに戻ります。



ファンクション 画面のソフトキーオプションを選択します。
ソフトキーのオプションをスクロールするには、左右のカーソルボタンを使います。

画面



機能ボタン（ソフトキー）

機能ボタン（ソフトキー）を使用すれば、様々な項目に入って、メッセージの作成、メッセージストア、システムプロパティなど、プリンタのすべての機能にアクセスできます。

次に示すのは、メインページのアイコンです。



カウンタ リセット
カウンタをリセットします。
リセット



メッセージ メッセージストアに入って編集できます。



印字有効 / 無効 印字の有効と無効を切り替えます。



印字の調整 印字の調整とセットアップを行えます。



ロゴ機能 ロゴの作成と編集を行えます。



逆洗浄有効 / 無効 この機能は、ノズルの詰まりを除くために使用します。適切な保護用装備を着用し（「健康と安全」のセクションを参照してください）、ジェットのスイッチをオフ、逆洗浄を有効にして、ノズル面に溶剤をかけてください。アイコンは、フラッシュが有効か無効かに応じて変わります。



テスト印字 ソフトウェアによる印字を実行します。



警報表示 現時点で警告があれば表示します。



メッセージ ジシー ケンス 設定した順序でメッセージを印字します。

メッセージの入力

はじめに

GP プリンタでは、次のフィールドにデータを入力して、メッセージを作成できます。

- テキスト
- 自動コード（日付、時間など）
- バーコード
- ロゴ（作成またはインポートしたもの）
- ユーザー定義（テキストまたはバーコード）

メッセージを作成する前に各フィールドに情報を設定してください。これらは自動的に、その後のメッセージに適用される、各フィールドのデフォルト設定になります（フォントサイズ、ボールド設定、向きなど）。この点については、メッセージのデフォルト h、ページ 21 で説明します。一度設定すると、新しいメッセージはこれらのデフォルトを使用します。ただし、これらの値はいつでもメッセージ内で変更できます。

注記：必要なメッセージのデフォルトを設定したら、メッセージの新規作成 h、ページ 22 に進みます。

メッセージ機能

後述する様々なオプションや設定を選択するには、次のボタンを使用します。



フィールドの追加 フィールドを追加します。



テキストの編集 強調表示されているテキストを編集します。



次の フィールド 次のフィールドに進んで編集します。



フィールドの削除 強調表示されているフィールドを削除します。



シフト メッセージのシフトを設定します。



カウンタ 1-5 カウンタのセットアップメニューです (セットアップするカウンタの番号に応じて変わります)。





設定 繰り返し印字、ピッチなどを設定します。また、シフトコード、カウンタ機能、オフセットクロックにアクセスできます。

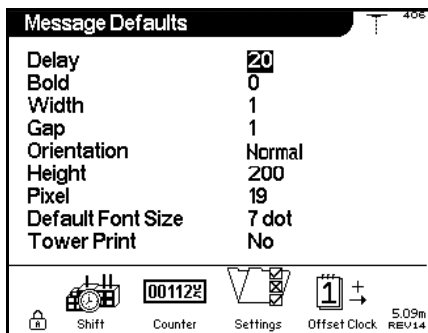


オフセットクロック オフセットクロックのパラメータを設定します。

メッセージのデフォルト

メッセージのデフォルトを設定するには

- (1) [プロパティ]  ボタンを押します。
- (2) [メッセージ]  ボタンを押します。



印字開始位置： メッセージを印字する際の開始位置を設定します（値は0～999999です）。

太字： 印字の際にストロークを増やして、文字の幅を太くします（値は0～9です）。

幅： エンコーダの入力パルスを除算すること、または内部的な幅コントロール設定によって、印字解像度を設定します（値は0～255です）。

ギャップ： 文字の間隔を設定します（値は0～9です）。

方向： 印字の向きを設定します。通常、反転、転倒および反転転倒が可能です。

高さ： 偏光板の電圧を調整して、印字の高さを増減します（値は0～255）。

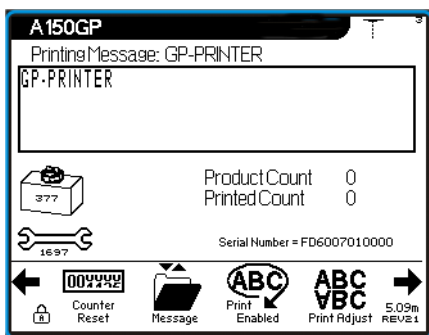
- ピクセル： ラスタに関する設定です。印字の縦方向のピクセル数を設定します。可能な値はモデルによって異なりますが、5、7、9、12、2L7、16、19、3L7、25、4L7、31です。
- デフォルトフォントサイズ： すべてのメッセージフィールドの、デフォルトのフォントサイズを設定します。可能な値はモデルによって異なりますが、5、7、9、12、16、19、25および31です。
- タワー印字： テキストを縦に並べて印字します。回転の向きは時計回り (CW) または反時計回りです。縦印字はフィールドの設定でのみ選択できます。この機能を使用する場合に選択してください。



値を変更するには、カーソルボタンでパラメータを選択します。選択したら、Enter を押してください。

注記: Caps ロックがオンになっている場合には、メッセージ設定の値は1増え、オフになっている場合は、1減ります。

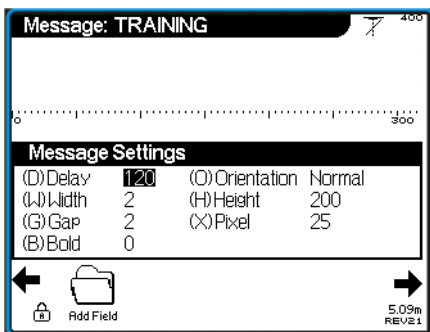
メッセージの新規作成

ホーム画面から操作します。

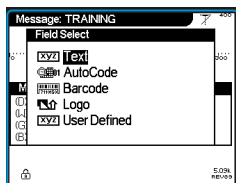


- (1) メッセージ作成画面にアクセスするには、[メッセージ]  ボタンを押します。
- (2) [新規]  ボタンを押します。
- (3) 表示されるウィンドウにメッセージの [名前] を入力して、Enter を押します。新しいメッセージは自動的にメッセージストアに保存されます。
- (4) 次のウィンドウで、[メッセージの設定] をチェックして目的に適しているか確認します。

注記: これらは、メッセージのデフォルト値、ページ 21 で説明したように、デフォルトの設定になります。これらの値を変更する方法については、メッセージ設定とフィールド設定の変更値、ページ 26 を参照してください。



- (5) メッセージ設定を確認したら、[フィールドの追加] ボタンを押します。
- (6) 次のウィンドウで、必要なフィールドのタイプを選択します。この例では、カーソルボタンで [テキスト] を選択して、Enter を押します。

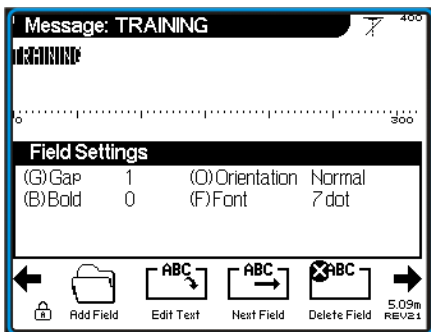



このウィンドウで使用できるオプションは次のとおりです。

- (a) **テキスト** - 標準的なテキストフィールドです。テキストは代替キーボードでも入力できます(アラビア語や中国語など)。その方法は、『操作および保守マニュアル』を参照してください。
 - (b) **自動コード** - クロック、カウンタ、シフトコードまたはユーザー定義コードを入力できます。
 - (c) **バーコード** - 様々なバーコードを選択できます(モデルによって異なります)。
 - (d) **ロゴ** - デザイン済みの、保存されたロゴを入力できます。
 - (e) **ユーザー定義** - 特殊文字を入力できます。これは、テキストおよびバーコードで使用できます。フィールドの情報を変更するようとのプロンプトが表示されます。
- (7) 印字するフィールドに必要なテキストを入力したら、Enterを押します。カーソルボタンで、[メッセージ] ウィンドウ内に新しいフィールドの位置を指定します。

フィールドのテキスト：
「TRAINING」

- (8) メインのメッセージ画面では、必要な設定の変更、新しいフィールドの追加、フィールド内のテキストの編集、フィールドの削除を行えます。[フィールドの設定]画面で印字フィールドの設定を変更するには、オプションの前の文字を選択します。太字の場合はBになります。

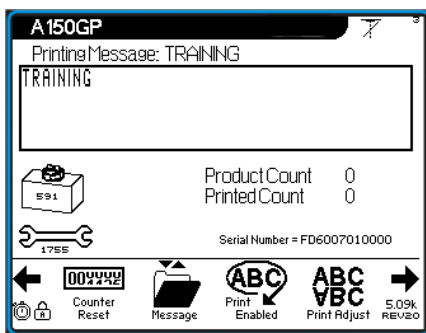


- (9) フィールドを追加するには、[フィールドの追加]  ボタンを押して、ステップ6からの手順を繰り返します。
- (10) カーソルボタンで新しいフィールドの位置を指定します。

- (11) メッセージ設定が終わったら、Enter を押します。プロンプトが表示されるので、このメッセージを保存して Enter をもう一度押します。メイン画面に戻ります。



- (12) メッセージを印字するには、[印字開始] ボタンを押します。
(13) 画面はホーム画面に戻り、これから印字される現在のメッセージが表示されます。





代替キーボード

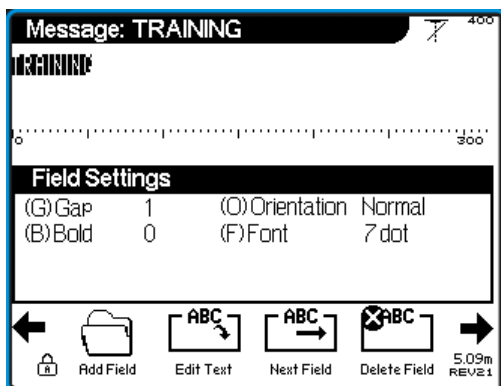
代替キーボード機能を使えば、キーボードから他の言語（アラビア語や中国語など）のテキストを追加できます。このようなテキストは、テキストフィールドに入力すること、またはファイル名として使用することができます。サポートされている言語であれば、各テキストフィールドはそれぞれ独立に設定できます。詳細については、『操作および保守マニュアル』の「代替キーボード」セクションを参照してください。

メッセージ設定とフィールド設定の変更

メッセージの設定（デフォルトのステージで設定したもの）とフィールド設定は、両方とも変更できます。

メッセージストアに保存されたメッセージを編集するにはカーソルボタンでメッセージ名を強調表示にします。

- (1) [編集]  ボタンを押します。編集可能なメッセージ設定が強調表示されます。
- (2) キーボードで、変更するパラメータを選択します。たとえば、幅の場合には [W] です。表示されるパラメータの詳細については、メッセージのデフォルト h、ページ 21 を参照してください。
- (3) [次のフィールド]  ボタンを押します。次の図のように、メッセージフィールドの1つが強調表示されます。

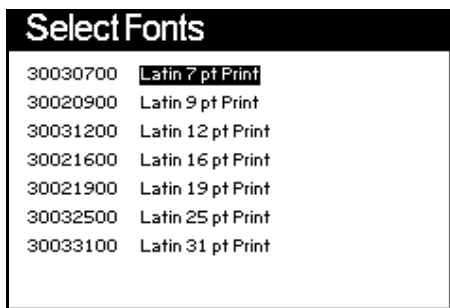


- (4) 希望するフィールドが強調表示になるまで、[次のフィールド] を押してください。
- (5) フィールドの設定を変更します。


[フィールドの設定] の各項目の意味は次のとおりです。

(G) ギャップ 文字の間隔です。値は0～9です（メッセージ設定でも設定できます）。

- (B) 太字 (値は0～9です。メッセージ設定でも設定できます)。
- (O) 向き フィールドの向きです。[通常 / 反転 / 転倒 / 反転転倒 / 時計回り / 反時計回り]で縦 / 反時計回りで縦のいずれかを選択します (デフォルトの設定で設定されていた場合)。
- (F) フォント 様々なフォントサイズを設定できます。実際の大きさは、ピクセルサイズの設定に応じて変わります。次の図をご覧ください (フィールドだけでの調整です)。

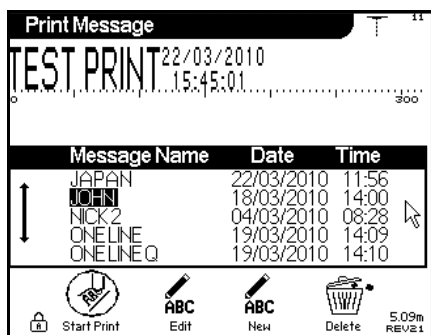


注記: 最大ピクセルサイズを超さないようにしてください。

- (6) [テキストの編集]  ボタンを押します。これでメッセージのテキストが編集できます。
- (7) 名前を付けて保存するには、Enter ボタンを押します。既存のメッセージを上書きすることもできますし (この場合、プロンプトが表示されます)、新しいメッセージ名を付けることもできます。メッセージはメッセージストアに再度保存されます。


メッセージストア

メッセージはすべてメッセージストアに保存されます。これらのメッセージは、印字、編集または削除できます。




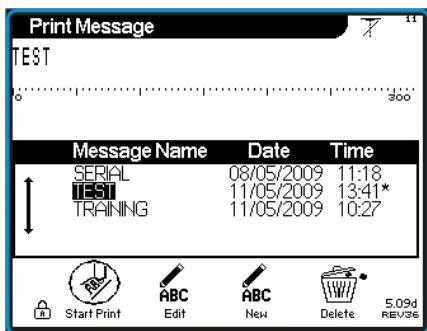
注記: メッセージの先頭の文字を入力すると、その文字で始まる保存済みメッセージが表示されます。


メッセージ編集

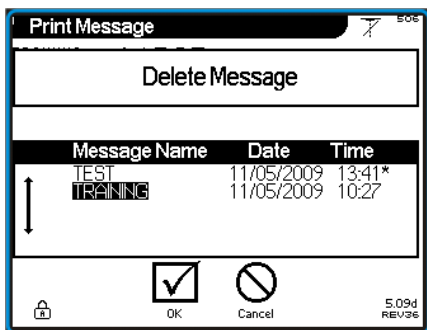
メッセージストアに保存されているメッセージを編集するには、そのメッセージを選択して [編集]  ボタンを押します。メッセージを必要に応じて編集することができます。終了したら、Enter ボタンを押します。プロンプトが表示されて、既存のメッセージを上書きするか (この場合、別のプロンプトが表示されます)、新しいメッセージ名を入力するかのオプションを選択できます。

メッセージの削除

- (1) ホーム画面で [メッセージ]  ボタンを押します。



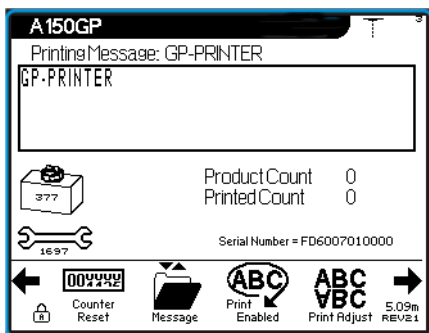
- (2) カーソルボタンで強調表示の部分を上下に移動して、削除するメッセージを選択します。
- (3) [削除]  ボタンを押します。



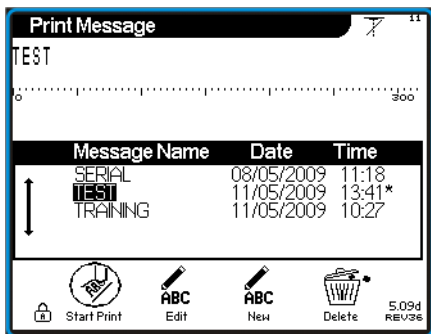
- (4) [OK] を押すと、メッセージは削除され、画面はメッセージストア画面に戻ります。

メッセージの印字

ホーム画面から操作します。




- (1) [メッセージ]  ボタンを押します。



- (2) カーソルボタンで強調表示の部分を上下に移動して、印字するメッセージを選択します。

注記: メッセージの先頭の文字を入力すると、その文字で始まる保存済みメッセージが表示されます。

- (3) [印字開始]  ボタンを押します。
(4) メッセージは印字され、ホーム画面が再度表示されます。

クロック機能

利用できる機能は 時刻、日付、ロールオーバーおよびクロックオフセットです。

クロックオフセットは2つ設定して、メッセージで使用できます。利用できるクロック機能と設定については、次の図をご覧ください。

時刻フォーマット：

Time Format	
HH:MM:SS	
HH:MM	
Hours	
Minutes	
Seconds	
15 Minute	

日付フォーマット：

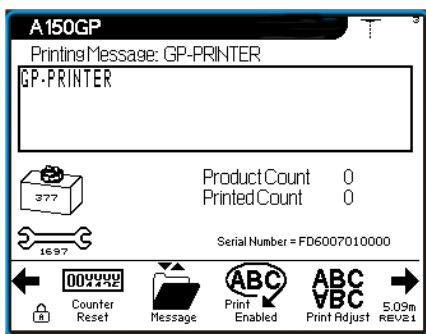
Date Format	
DDMMYY	Month Number
DDMMYYYY	Week
Day of Year	Year 1 Digit
Day of Month	Year 2 Digit
Day of Week	Year 4 Digit
Alpha Year	Hijri Date
Alpha Month	Hijri Day
Alpha Day Of Week	Hijri Month
Alpha Day Of Month	Hijri Year




RIGHT/LEFT -> change DDMMYY

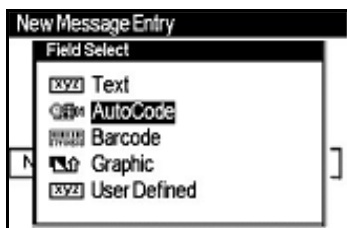
- 時刻:** システムプロパティでセットアップされた実際の時刻に基づいた時刻です。
- 日付:** 実際の日付とオフセット日付のセットアップに基づく日付です。
- オフセット日付:** 実際の日付とオフセット日付のセットアップに基づく日付です。
- ロールオーバー日付:** 実際の日付とオフセット日付のセットアップに基づく日付です。
- シフト:** 実際の時刻とオフセット時刻のセットアップに基づく時刻です。

クロックの挿入

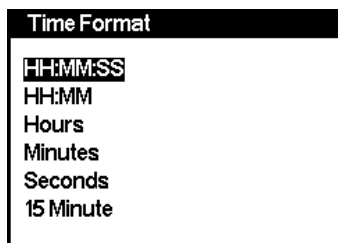
ホーム画面から操作します。



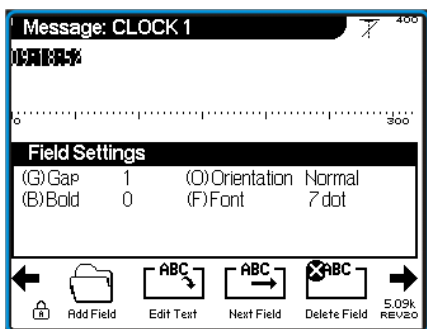
- (1) [メッセージ]  ボタンを押します。
- (2) [新規]  ボタンを押します。
- (3) メッセージの名前を入力して Enter を押します。この手順を終えると、新しいメッセージは自動的にメッセージストアに保存されます。
- (4) メッセージ設定は、フィールドを追加する前のこの時点で変更することができます。
- (5) [フィールドの追加]  ボタンを押します。
- (6) 次のウィンドウで、必要なメッセージのタイプを選択します。この例では、カーソルボタンで [自動コード] を選択して、Enter を押します。



- (7) カーソルボタンでメニューから必要な自動コードのタイプ（この例では [時刻]）を選択して、Enter を押します。
- (8) メニューから必要な時刻のフォーマット（この例では [HH:MM:SS]）を選択して、Enter を押します。



- (9) 必要な場合は、次のウィンドウで [時刻の区切り文字] を選択して、Enter を押します。
- (10) メッセージウィンドウに時刻が表示されます。ここでは [フィールドの追加]、[テキストの編集] などのオプションがあります。または [フィールドの設定] を変更します。フィールドの位置を指定するには、カーソルボタンを使います。

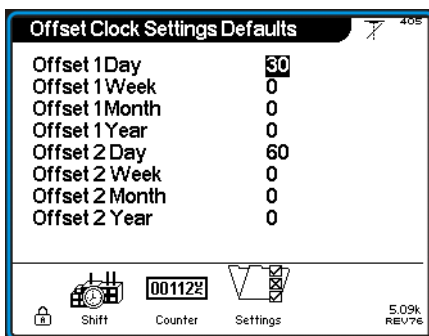


- (11) Enter ボタンを押して設定を保存し、Enter をもう一度押してメッセージをメッセージストアに保存します。
- (12) [印字開始] ボタンを押すとメッセージが印字され、ホーム画面に戻ります。

オフセットクロック設定のデフォルト

利用可能な2つのクロックにオフセット時間を設定するには

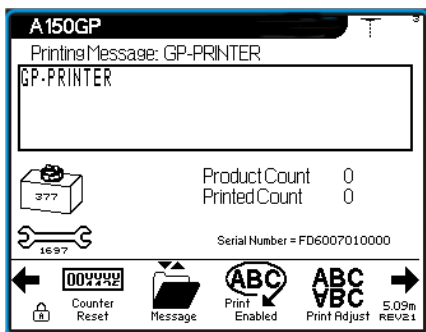
- (1) [システムプロパティ]  ボタンを押します。
- (2) [メッセージ]  ボタンを押します。
- (3) [設定]  ボタンを押します。
- (4) [Offset Clock]  ボタンを押します。






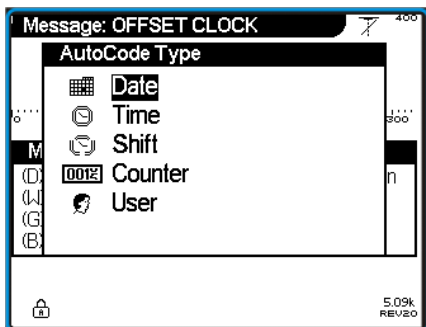
図に示すようにオフセット時間を設定したら、メッセージにクロックを挿入して使用することができます。

オフセットクロックの挿入

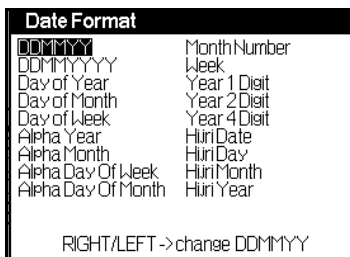
ホーム画面から操作します。



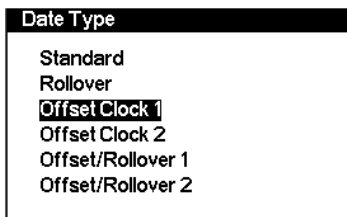
- (1) [メッセージ]  ボタンを押します。
- (2) [新規]  ボタンを押します。
- (3) メッセージの名前を入力してEnterボタンを押します。メッセージを入力すると、新しいメッセージは自動的にメッセージストアに保存されます。
- (4) 次のウィンドウでは、メッセージ設定の変更が必要であれば、[フィールドの追加] を選択する前に変更します。
- (5) [フィールドの追加]  ボタンを押します。
- (6) 次のウィンドウで、必要なメッセージのタイプを選択します。この例では、カーソルボタンで [自動コード] を選択して、Enter を押します。
- (7) [自動コードのタイプ] メニューで [日付] を選択します。



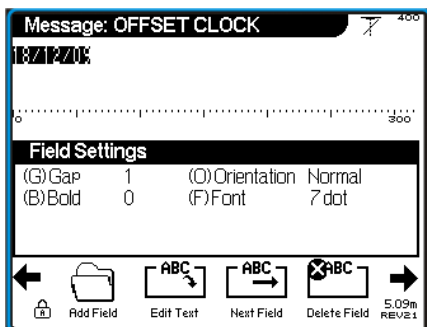
- (8) フォーマットとして [DDMMYY] を選択し、Enter を押します。



- (9) 次のウィンドウでは、カーソルで下にスクロールして [オフセットクロック 1] を選択し、Enter を押します。



- (10) 必要であれば [日付の区切り文字] を選択して、Enter を押します。
- (11) メッセージウィンドウには、入力したオフセットが適用された日付が表示されます。

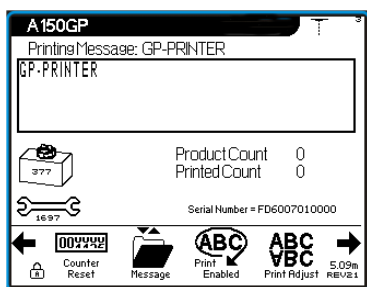




- (12) Enter を押し、Enter をもう一度押してメッセージを保存し、[印字開始] ボタンを押してメッセージを印字して、ホーム画面に戻ります。

カウンタの挿入

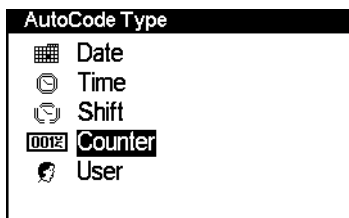
カウンタのデフォルトの設定についての詳細は、『操作および保守マニュアル』を参照してください。

ホーム画面から操作します。

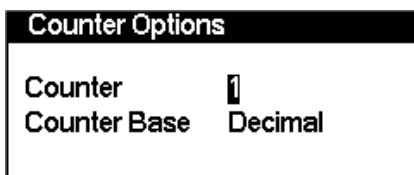


- (1) [メッセージ]  ボタンを押します。
- (2) [新規]  ボタンを押します。
- (3) メッセージの名前を入力して Enter を押します。この手順を終えると、新しいメッセージは自動的にメッセージストアに保存されます。

- (4) [フィールドの追加] ボタンを押して、必要なメッセージのタイプを選択します。この例では、カーソルボタンで [自動コード] を選択して、Enter を押します。
- (5) [自動コードのタイプ] ウィンドウでカーソルを使って [カウンタ] を選択し、Enter を押します。



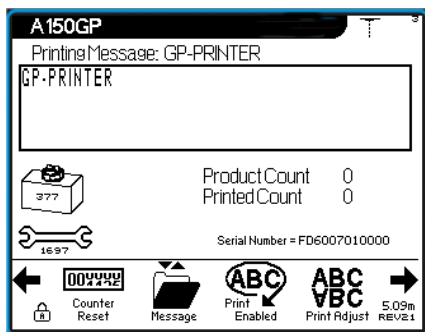
- (6) 使用するカウンタを選択し、カウンタの基数オプションを [十進]、[二進] および [十六進] から選択します。完了したら Enter を押します。



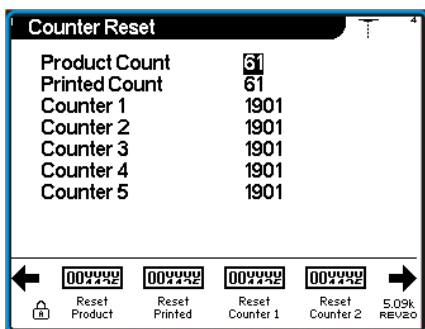
- (7) Enter を押して保存します。カウンタの値を変更する場合には、スクロールして [カウンタ] ボタンを押します。必要なパラメータを選択して変更します。Enter を押して [メッセージの設定] 画面に進みます。
- (8) [印字開始] ボタンを押すとメッセージ内のカウンタが印字され、ホーム画面に戻ります。
- (9) Enter を押して保存し、Enter をもう一度押して [メッセージの印字] 画面に進みます。
- (10) [印字開始] ボタンを押すとメッセージ内のカウンタが印字され、ホーム画面に戻ります。

カウンタのリセット

ホーム画面から操作します。



- (1) [カウンタのリセット] **000000** ボタンを押します。
- (2) カウンタ全体、または特定のカウンタをリセットするには、適切なリセットボタンを押します。



- (3) 上側に表示される情報には、製品のカウンタ、印字のカウンタ、および使用しているカウンタの実際のカウンタが表示されます。
- (4) カウンタ全体を開始値にリセットするには、対応する機能ボタンを押します。
- (5) 特定のカウンタを別の数値に変更するには、カーソルボタンで強調表示されている箇所を移動します。
- (6) 対象とするカウンタが強調表示になったら、左右のカーソルボタンを押します。

- (7) 次の図のように別のウィンドウが表示されるので、新しい開始カウンタ値を入力して、Enter を押します。この例は、カウンタ 1 を新しい値に変更するところです。Enter をもう一度押すと、値が保存され、ホームページに戻ります。

The screenshot shows a window titled "Counter Reset" with a list of counters and their values. The values for Counter 1, 2, 3, and 4 are all 1901. Counter 1 is highlighted with a blue background. Below the list is a text input field containing "Counter 1: 1901". At the bottom left is a lock icon, and at the bottom right is the text "5.09k REV2.0".

Product Count	61
Printed Count	61
Counter 1	1901
Counter 2	1901
Counter 3	1901
Counter 4	1901

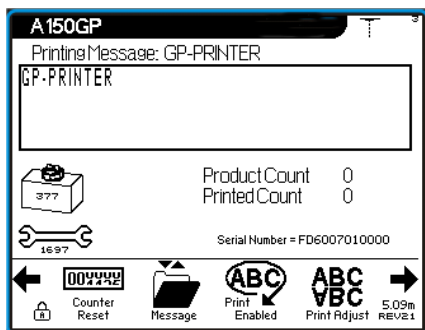
Counter 1: 1901



5.09k
REV2.0

バーコードメッセージの入力（モデルにより異なる）


注記：GP プリンタで使用できるバーコードは、I2 of 5、code 39、code 128、UPC A、UCP E、EAN 13、EAN 8 および Datamatrix です。

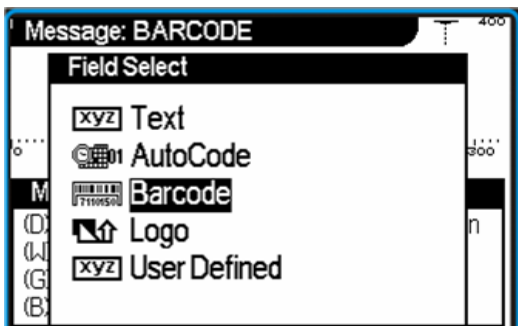
ホーム画面から操作します。



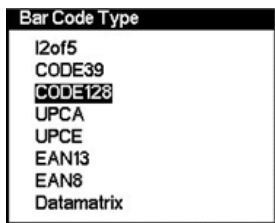
- (1) [メッセージ]  ボタンを押して画面にアクセスします。
- (2) [新規]  ボタンを押します。
- (3) メッセージの名前を入力して Enter を押します。この手順を終えると、新しいメッセージは自動的にメッセージストアに保存されます。

名前：BARCODE

- (4) 次のウィンドウではメッセージ設定を行います。
- (5) [フィールドの追加]  ボタンを押します。
- (6) 次のウィンドウで、必要なメッセージのタイプを選択します。この例では、カーソルボタンで [Barcode] を選択して、Enter を押します。



- (7) この例では、カーソルボタンで [Code128] を選択して、Enter を押します。



- (8) [バーコードのオプション] 画面で、[英数字表示] (人が読み取り可能なコード) を [オン] にします ([オフ] を選択すると、人間が読み取れるコードは印字されません)。また、必要であれば [バーコードのソース] を設定します。

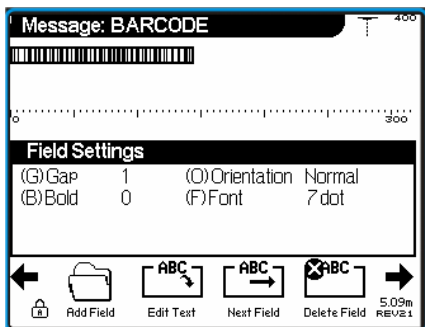
注記: フォントサイズやピクセルサイズの設定が適切でないと、人が読み取り可能なコードは表示されません。



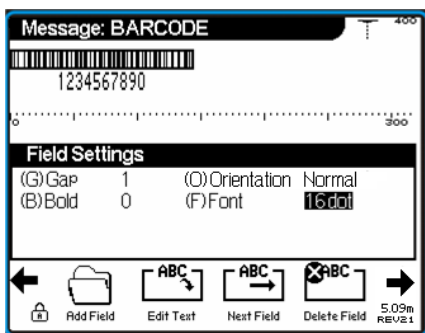
- (9) バーコードのポップアップウィンドウでテキストを入力して、Enter を押します。


BarCode Text: 1234567890

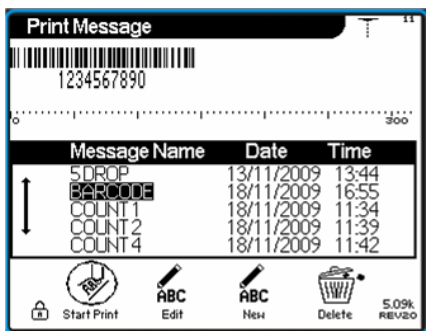
- (10) 設定したバーコードは [メッセージ] ウィンドウに表示されます。



- (11) F (フォント) ボタンを押し、カーソルボタンで 16 ドットを選択して、Enter を押します。
- (12) フォントサイズをこのように変更すれば、バーコードの下に、人が読み取り可能なコードが表示されます。

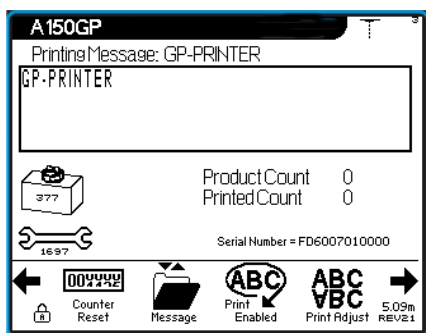


- (13) 完了したら Enter を押し、Enter をもう一度押してメッセージを保存します。
- (14) [印字開始]  ボタンを押すとメッセージが印字され、ホーム画面に戻ります。

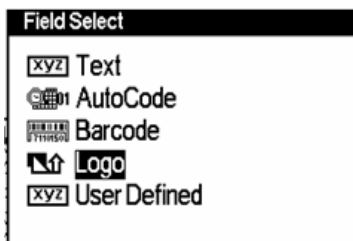


ロゴの挿入

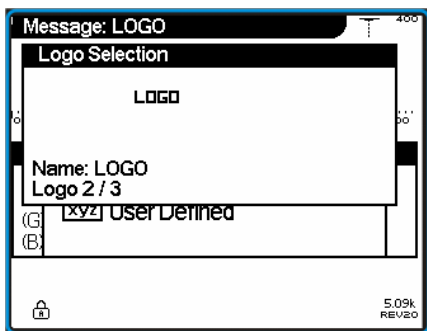
ホーム画面から操作します。



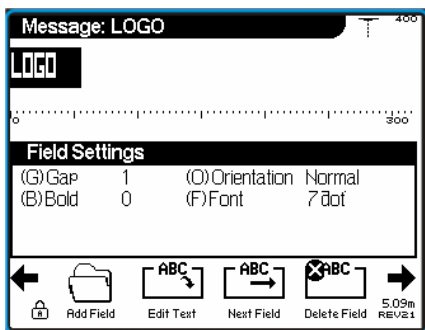
- (1) [メッセージ] ボタンを押します。
- (2) [新規] ボタンを押します。
- (3) 新しいメッセージの名前を入力して Enter を押します。この手順を終えると、新しいメッセージは自動的にメッセージストアに保存されます。
- (4) 次のウィンドウで、[フィールドの追加] を選択する前に、メッセージ設定を変更します。
- (5) [フィールドの選択] ウィンドウでカーソルボタンで [ロゴ] を選択し、Enter を押します。



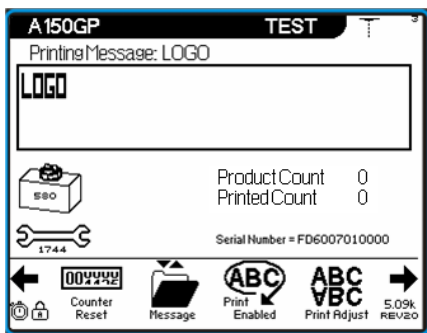
- (6) 選択画面で、上下のカーソルボタンでロゴを選択します。必要なロゴが表示されたら、Enterを押します。



- (7) 選択したロゴはメッセージ画面に表示されます。この時点で、フィールドの設定を変更することができます。メッセージ設定画面で適切なピクセルサイズが選択されていることを確認してください。



- (8) Enter を押してメッセージを保存し、Enter をもう一度押してメッセージストア画面に戻ります。[印字開始] ボタンを押すと強調表示されているメッセージが印字され、ホーム画面に戻ります。



プリンタの状態

次に示すのは、よく見られるプリンタの状態です。これらのアイコンの一部は、プリンタの起動または停止時に、ホーム画面の上部、プリンタタイプのすぐ下に表示されます。ジェットの状態を示すアイコンは、画面の右上に表示されます。

スタンバイ



プリンタはスタンバイ状態です。インクシステムは停止していますが、ユーザーインターフェースではまだ情報を入力できません。印字ヘッドのストロボ LED は点滅します。

印字準備中



プリンタは、印字可能になるための準備をしています。インクシステムはアクティブで圧力がかかっており、印字ヘッドはジェットを噴出する準備ができています。このプロセスが完了すると、プリンタは印字準備完了状態になり、ジェットオン/オフボタンの LED は点滅します。

印字準備完了



プリンタは印字準備が完了しました。メッセージがオンラインであれば、製品検出信号を受け取ったときに、メッセージが印字されます。インクシステムはアクティブで圧力がかかっており、印字ヘッドはジェットを噴出する準備ができています。ジェットオン/オフボタンは点灯状態になります。ヘッドのストロボ LED も点灯状態になります。

シャットダウン



プリンタは印字準備完了状態からジェットオンのみまたはスタンバイ状態のいずれかになります。

注記: このプロセスが完了するまでは、インクシステムはアクティブで圧力がかかっています。

加熱中



プリンタはインクの最適温度まで印字ヘッドを加熱中です。インクシステムはアクティブで、印字ヘッドと同様に圧力がかかっています。最適温度に達すると、ジェットが開始し、プリンタは印字準備完了状態になります。

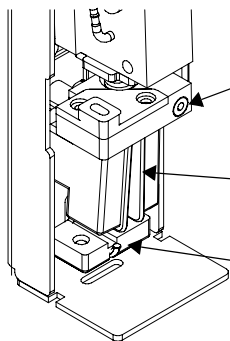
故障の検出

電源表示ランプが点灯しません	
考えられる原因	考えられる処置
停電	電源を復旧してください
ヒューズの不具合です	主プラグを確認してください
印字しません	
考えられる原因	考えられる処置
メッセージ入力ミス	入力したデータを点検してください
製品検出センサが接続されていないか、不具合が生じている	センサを点検します
文字幅設定が小さすぎる	文字幅を再設定します
シャフトエンコーダの不具合	シャフトエンコーダとコネクタを点検します
外部ストローク切り替えが選択されている（エンコーダが実装されていない場合）。	内部ストローク切り替えに変更します
[印字開始] ボタンが押されていない	[印字開始] ボタンを押して、現在のメッセージを印字します
EHTトリップが生じた	プリントヘッドを点検して必要に応じて洗浄します。問題が解決しない場合は、プリントヘッドを位置合わせする必要があります

印字位置が不適當です	
考えられる原因	考えられる処置
印字遅延の設定ミス	印字遅延を再設定します
製品検知器/センサーが不適切	再度センサの位置を合わせます
メッセージの先頭もしくは末尾に空白が挿入されている	入力したデータから空白を消去します
印字サイズが小さすぎます	
考えられる原因	考えられる処置
文字高さ調整が正しくない	文字高さを調整します
偏向板でのジェットアライメントが正しくない	ジェットアライメントを点検します
インク圧力が高すぎる	インク圧力を確認し、必要に応じて再設定します
偏向板に溶剤が残っている(クリーニング後)。	偏向板を乾燥させます
プリントヘッドが製品に近すぎる	プリントヘッドの位置を点検します
装着したノズルのサイズが違う	点検し、必要に応じて交換します
ガターからインクがあふれています	
考えられる原因	考えられる処置
ガターフィルタが詰まっている	ガターフィルタを交換します

ガターチューブが詰まっている	ガターを洗浄して詰まりを解消します
ガターから空気が漏れている	空気が漏れていないかどうかガター回路を点検します
圧力の設定が正しくない	圧力を調整します
オリフィスが詰まっている	オリフィスを洗浄するか、分配ブロックを交換します

プリントヘッドのクリーニング



ねじをゆるめて、帯電板を引き出します。適切にスロットを洗浄して、リントフリー・ペーパー（布）で拭き取ります。

偏向板のインクの汚れを清掃します。

ガタ一部のインクの汚れを清掃します。

A-Series GP 印字ヘッド



このユーザガイド(パーツ番号6-0199568の一部)は、どのようにドミノA-Series **GP**プリンタを操作するかを示しています。詳細は、CD-ROMに含まれた「操作および保守マニュアル」を参照してください。

コーンズドッドウェル
コーディング株式会社
東京都大田区西蒲田8-20-8
アゼル3号館
電話 : 03-3736-2731
ファックス : 03-3736-2734

Domino Printing Sciences plc

Bar Hill
Cambridge CB23 8TU
England
Tel: +44 1954 782551
Fax: +44 1954 782874